

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	AK	学部・学科	国際教養学部
学 年	4 年	派遣国	マレーシア
派遣大学	マレーシア科学大学		
期 間	2025 年 9 月 26 日～ 2026 年 7 月 26 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他（マンション）					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他（ ）					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約（ 28,000 ）円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	（ 徒歩 ）で、約（ 30 ）分 *大学までの所要時間と移動方法 バス 約 10 分					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費（6 月の例）

項 目	金 額	内 訳
食費	24,6000 円	昼夜外食（1 食 500 円前後）
学用品購入費	4000 円	Graduation night の参加費
交通費	350 円	Grab 利用料、何人かで割るので安い
交際費	6300 円	卒業写真の撮影や、ペナン島内散策
その他	30,000 円	家賃、光熱費、水道代、通信費
合計	65,250 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ペナン島は、全体的に治安が良いと感じました。大学周辺も比較的安心して生活でき、ジョージタウンも夜まで営業しているカフェやレストランが多いため、人通りのある場所では大きな不安を感じることはありませんでした。ただし、夜遅くに出歩く際は、人通りの少ない場所を避けるなど、基本的な注意は必要です。

特に気をつけてほしいのが道路です。横断歩道がない場所も多く、車やバイクの交通量も多いため、道路を渡る際には十分に注意する必要があります。基本的に車優先なので、歩行者側が車やバイクの動きを見ながら止まる必要があります。大学周辺も街灯が少ない場所があるため、特に夜間は車やバイクに十分注意して歩くことをおすすめします。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学 研 災 付 帯 海 学 / その他（危機管理システム（J-TAS））		
加入期間	（ 11 ）ヶ月間	保険料	（ 114,380+22,338 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	支払うだけするため名称は分かりません Health insurance という名目です		
加入期間	（ おそらく 10 ）ヶ月間	保険料	（ 320RM、約 12,000 ）円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **ペナン島** ）

ペナン島は、マレーシア北西部に位置する島です。首都クアラルンプールからは、バスで約5時間、飛行機で約1時間で行くことができます。

島の北東部には、世界遺産に登録されているジョージタウンがあり、観光地としても有名です。大学からジョージタウンまでは車で約25分です。ジョージタウンに着いてからは徒歩で回れる場所も多く、街並みや観光スポットを歩いて楽しむことができます。

島の北西部には、Batu Ferringhi Beach や Penang National Park などがあり、ジョージタウンとは違った自然豊かな景色を楽しめます。大学は島の南東部に位置しています。

ペナン島は一年を通して気温が高く、乾季と雨季があります。気温は日本の夏と同じくらいですが、一年中夏のような気候が続きます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	マレーシア科学大学	所在地	ペナン島
最寄空港	ペナン国際空港	空港からの距離	10 キロ
空港⇄大学	(HOST 大学が手配してくれたミニバン) *移動手段		
学生数	約 30,000 人	留学生数	約 4000 人
学部	<p>メインキャンパス (Main Campus, Penang) School of Mathematical Sciences (数理科学部).</p> <p>School of Physics (物理学部).</p> <p>School of Biological Sciences (生物科学部).</p> <p>School of Chemical Sciences (化学部).</p> <p>School of Pharmaceutical (薬学部).</p> <p>School of Computer Sciences (コンピューター・サイエンス学部).</p> <p>School of Industrial Technology (理工学部).</p> <p>School of Housing, Building & Planning (建築学部).</p> <p>School of Social Sciences (社会科学部).</p> <p>School of Humanities (人文科学部).</p> <p>School of Communication (コミュニケーション学部).</p> <p>School of Arts (文学部).</p> <p>School of Languages, Literacies and Translation (外国語学部).</p> <p>School of Educational Studies (教育学部).</p> <p>School of Distance Education (遠隔教育学部).</p> <p>School of Management (経営学部).</p> <p>Graduate School of Business (ビジネススクール)</p> <p>エンジニアリング学部 (Engineering Campus, Seri Ampangan)</p> <p>School of Electrical & Electronic Engineering (電気・電子工学学部).</p> <p>School of Material & Mineral Resource Engineering (物質・鉱物資源工学部).</p> <p>School of Aerospace Engineering (航空宇宙工学部).</p> <p>School of Chemical Engineering (化学工学部).</p> <p>School of Civil Engineering (土木工学部).</p> <p>School of Mechanical Engineering (機械工学部).</p> <p>健康科学部 (Health Campus, Kubang Kerian)</p> <p>School of Health Sciences (健康科学部).</p> <p>School of Medical Sciences (医学部).</p> <p>School of Dental Sciences (歯学部).</p> <p>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		

学部/専攻	School of Social Science
-------	--------------------------

*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。

2. 週間スケジュール

① (10)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	12:00-12:50 General English (online)		8:00-9:50 General English	12:00-14:50 Asean and Asia Pacific 最初の1時間は Tutorial	
午後		14:00-14:50 Asean and Asia Pacific	15:00-18:00 Malaysian Studies 最後の1時間は Tutorial		

② (3)月～(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	9:00-10:50 Education, Training and Human resources	11:00-12:50 Issue of urbanization		11:00-13:00 Management of Halal Food	
午後	12:00-12:50 Management of Halal Food 14:00-14:50 Issue of urbanization	13:00-13:50 Education, Training and Human resources			

3. 履修内容

科目	General English I		
履修期間	10 月～2 月	単位数	2
授業内容／形態	<p>General English I は Reading, Listening, Writing, Speaking の四技能を高めることを目的としている。</p> <p><授業形態>購入した教科書を使い、先生が生徒に答えさせる形で授業が展開される。</p> <p><学生数> 約 25 人</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数		
	担当教員		

科目	Geography of ASEAN and Asia Pacific		
履修期間	10 月～2 月	単位数	3
授業内容／形態	<p>この講義では、ASEAN 及びアジア太平洋諸国における地理的側面と協力メカニズムを探究する。</p> <p>背景的なテーマとして、地域内の社会経済的、文化的、政治的状況の類似点と相違点を取り上げる。本講義の焦点は、域内における物資、商品、資本、人材の流れという観点から協力メカニズムを評価し、それが地域の繁栄にどの程度貢献しているかを考察することにある。</p> <p><授業形態> 一斉授業 2 時間 & tutorial 1 時間 (1 グループ 6 人)</p> <p><学生数> 170 人</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目	国際機構論	
	単位数	2	
	担当教員	高橋力也	

科目	Malaysian Studies		
履修期間	10 月～2 月	単位数	4

授業内容／形態	<p>この講義では、マレーシアを歴史、政治、社会、文化、経済の観点から考察する。マレーシアの歴史と政治の関係、他民族社会の形成とその重要な特徴、そしてマレーシアにおける開発に関連する諸問題を取り上げる。また、マレーシアの現代的な課題についても学ぶ。例えば、社会的に阻害された集団、大衆文化、健康と福祉に関する問題、そしてグローバルな文脈からみたマレーシアの姿などを学ぶ。</p> <p><授業形態> 一斉授業 & Tutorial <学生数> 約 240 人</p>	
成績		
YCU 振替予定	科目	東南アジア研究＋東南アジア史
	単位数	4
	担当教員	柿崎一郎

科目	Issue of Urbanization		
履修期間	3 月～7 月	単位数	3
授業内容／形態	<p>本授業では、都市化の概念とマレーシアにおける歴史を学びます。土地利用の変化、人口増加、持続可能な開発、食糧安全保障など、都市化が及ぼす影響と対策を検討します。</p> <p>< 授 業 形 態 > コ ー ス ワ ー ク 100 % 1Group project(40%)、1 Presentation(20%)、4 tutorial exercise(40%) <学生数> 50 人</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目	都市経済	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Education, training and human resources		
履修期間	3 月～7 月	単位数	3
授業内容／形態	<p>本授業では、国家開発における教育部門の役割を考察します。マレーシア等の発展途上国を例に、教育の質、公平性、グローバル化における課題、人的資本の形成について議論します。</p> <p><授業形態>100%コースワーク（Tutorial Exercise 4 回 40%、Project 1 回 30%、Quiz 3 回 30%）</p>		

	<学生数> 約 40 人	
成績		
YCU 振替予定	科目	社会開発論
	単位数	2
	担当教員	

科目	Management of Halal		
履修期間	3 月～7 月	単位数	3
授業内容／形態	<p>本授業では、ハラール食品と、その原料に関するイスラム法の基礎を導入として学びます。また、ハラールに基づく屠殺方法や食品加工、ハラール製品の規格、管理システム、認証プロセス、法執行および関連法規についても解説します。さらにハラールロゴの不正使用や食品偽装といった現代的な課題についても議論します。</p> <p><授業形態> 一斉授業 & Tutorial、期末</p> <p><学生数> 約 80 人</p>		
成績			
YCU 振替予定	科目	なし	
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回のマレーシア留学を通して、文化や宗教、生活習慣が異なっているにもかかわらず、同じ一人の人間として相手と関わり、知ろうとする姿勢を持つことが大切だと学びました。留学前は、イスラム教や多民族社会について授業や本を通して学んだことはありましたが、実際に現地で生活してみると、知識として知っていることと、自分の生活の中で経験することには大きな違いがありました。

特に印象に残っているのは、イスラム教が日常生活の中に自然に存在していることです。マレーシアでは毎日アザーンが大きな音で街に響き、大学や街中にはモスクが身近にあり、実際に人々が礼拝する姿を日常的に目にしました。また、食事をする際にはハラールであるかどうか重要であり、スーパーでもハラール認証を目にする機会が多くありました。こうした環境で生活することで、宗教は特別な行事の時だけ意識するものではなく、食事や一日の過ごし方など、人々の日常に深く関わっていることを実感しました。

さらに、マレー系や中華系、インド系など、異なる民族や宗教的背景を持つ人々がともに暮らすマレーシアでは、それぞれの違いを前提とした配慮が生活のさまざまな場面にあることにも気づきました。特に食文化について学べたことは、今回の留学で得た大きな学びの一つです。大学では「Management of Halal Food」という、日本の大学ではなかなか受講できない授業を現地の学生と一緒に履修しました。授業でハラール食品について学ぶだけでなく、普段の買い物や友人との食事を通して、学んだ内容が実際の生活の中でどのように関わっているのかを見ることができました。現地で生活しながら学んだからこそ、教科書だけでは分からない食と宗教の結びつきをより深く理解できたと感じています。

一方で、生活を始めた当初は、宗教や文化が異なる相手に対して「こんなことを聞いても大丈夫だろうか」と迷うこともありました。しかし、分からないことや気になったことを実際に尋ねてみると、多くの方が自分たちの文化や宗教について快く教えてくれました。その経験から、知らないこと自体を恐れるのではなく、相手に関心を持ち、知ろうとして自分から聞くことが大切だと気づきました。また、宗教や文化が異なると聞くと、その「違い」に目が向きがちですが、実際に一緒に授業を受け、食事をし、日常的な会話を重ねる中で、違い以上に共通する部分も多いことを実感しました。背景が異なっているにもかかわらず、一人の人として向き合えば自然に関係を築くことができるということは、現地で多くの人と関わったからこそ得られた気づきです。

また、マレーシアでは授業や日々の時間の流れが日本よりもゆっくりしていると感じることが多くありました。最初は日本との違いに戸惑うこともありましたが、次第にその環境にも慣れ、自分自身について考える時間が増えました。日本にいる時は大学生活やアルバイトなど目の前のことに追われがちでしたが、留学中は普段とは異なる環境に身を置いたことで、自分がこれまで何をしてきたのか、これから何を学び、将来どのようなことをしたいのかについて改めて考えることができました。

今回の留学では、語学や授業から得た知識だけでなく、実際に異なる文化や宗教の中で生活し、人と関わることでしか得られない学びが数多くありました。自分の当たり前だけを基準にせず、まず相手やその背景を知ろうとすること、そして分からないことがあれば自分から

尋ねることの大切さを実感しました。今後も、文化や価値観の違いを必要以上に壁として捉えるのではなく、一人ひとりと向き合いながら、相手を知ろうとする姿勢を大切にしていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学で得た経験や学びを、今後の大学での学習や将来に活かしていきたいと考えています。特に、マレーシアで学んだ食文化や宗教に関する知識を、卒業論文の研究につなげていきたいです。留学中には「Management of Halal Food」を履修し、ハラル食品について学びました。また、実際に現地で生活する中で、宗教や文化が人々の食生活や食品の選択に深く関わっていることを実感しました。卒業論文では、大学で学んできた国際機構論と留学中の学びを結び付け、WFP の食糧支援における宗教や文化、食習慣への配慮について研究していく予定です。

また、留学を通して身につけた英語力を維持するため、帰国後も継続して英語を学んでいきたいです。留学中は授業や友人との会話など、日常的に英語を使う環境にいましたが、帰国後は英語を使う機会が少なくなりました。今後は TOEIC を受験する予定なので、その受験に向けた学習も続けながら、英語力の維持・向上に努めたいです。

さらに、留学生活を通して、自分とは異なる文化や価値観について、自分から知ろうとすることの大切さを学びました。今後もさまざまな背景を持つ人と関わる際には、相手の考え方や背景を知ろうとする姿勢を大切にしたいです。留学で得た知識や経験を今回限りのものにせず、今後の学業や将来にもつなげていきたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

USM への留学では、手続きや履修登録で戸惑うことが多いと思います。留学前の申請から現地での手続きまで、日本と比べて全体的にゆっくり進むことが多いため、最初は不安になるかもしれません。ただ、手続きに時間がかかることは珍しくないなので、焦りすぎなくても大丈夫です。特に履修登録は仕組みが複雑で、必要な情報を集めることにも苦労すると思います。前期から USM に留学している学生に聞いたり、留学生同士で情報を交換したりしながら進めることをおすすめします。

留学中は、USM で行われるさまざまなイベントにもぜひ参加してみてください。普段の授業とは違う形で現地の学生と関わることができ、新しい経験にもつながります。また、毎週土曜日にはロータスの前でナイトマーケットが開かれています。地元の料理を楽しめるだけでなく、お店の方と話す機会にもなるので、ぜひ足を運んでみてください。何度か通うことで顔を覚えてもらうこともあり、地元の方との交流も楽しめると思います。

時間があれば、マレーシア国内だけでなく、周辺国にもたくさん旅行してみたいです。実際に国を訪れることで、同じ宗教でも寺院の雰囲気や信仰のあり方が違っていたり、国によって食文化が大きく異なっていたりすることを感じることができます。授業や本で学ぶだけでは分からない違いを、自分の目で見て知ることができるのも、留学中ならではの経験だと思います。

食事については、マレーシアでは油を使った濃い味の料理や辛い料理が多く、飲み物もかなり甘いため、最初は慣れないこともあると思います。ただ、日本ではなかなか食べられない料理もたくさんあるので、ぜひいろいろなものに挑戦してみてください。一方で、長く生活していると日本食や日本のお菓子が恋しくなることもあります。出発するときにはいらないと思っていても、自分の好きな日本のお菓子や食べ物を少し持っていくことをおすすめ

します。

服装にも少し注意が必要です。USM では、学内でノースリーブや膝が見える服装は禁止のため、肌をあまり出さない服を多めに持っていくと安心です。また、外はとても暑いですが、教室の中は冷房がかなり強く、寒く感じることも多いので、厚めのカーディガンなど羽織れるものがあると便利です。日差しも強く、突然スコールが降ることもあるため、晴雨兼用の日傘も持っていくことをおすすめします。

また、ルームシェアをする場合は、家賃やお金に関することを最初にきちんと決めておくことがとても大切です。家賃をどのように分けるのか、家の設備が壊れたときの修理費をどうするのか、退去するときにデポジットをどのような形で返金するのかなど、後から問題になりそうなことは事前に話し合っておくと安心です。特に異なる国の人と一緒に暮らす場合は、言葉や生活習慣の違いからお互いの認識がずれることもあるため、口約束だけではなく、簡単な契約書を作り、後から確認できる形で残しておくことを強くおすすめします。

留学生活では、思うようにいかなかったり、日本との違いに戸惑ったりすることもあると思います。しかし、その分、楽しいことや日本ではできない経験もたくさんあります。留学期間は思っているよりもあっという間に過ぎてしまうので、少しでも興味を持ったことには積極的に挑戦してみてください。いろいろな場所に行き、たくさんの人と関わりながら、今しかできないことを全力で楽しんでほしいです。